

2015年10月1日
48号

かけはし

ひたちなか総合病院広報誌

発行所 株式会社製作所ひたちなか総合病院
〒312-0057
ひたちなか市石川町20番1
TEL 029 (354) 5111
発行人 飯嶋和秀
編集 広報委員会
<http://www.hitachi.co.jp/hospital/hitachinaka/index.html>

【ひたちなか総合病院理念】

「地域を護る病院」として説明責任を基本とした最新の技術とサービスを提供し患者さんが納得・満足される医療を遂行する

【ひたちなか総合病院基本方針】

「地域の皆さまの信頼と満足が私たちの生きがいです」のもとに、①急性期から回復期までの一貫した医療を充実させて地域完結型医療を推進する②教育・研修を充実させて最新の医療技術を確認し、職員満足を向上する③説明責任と最良のサービスを遂行し、患者満足を向上する④質を基盤とした総合的医療の質経営を実施し、持続成長可能な病院にする を実践する。

【2015年度品質目標】

・地域医療ビジョンに基づく医療を提供する・地域包括ケアシステムを構築する（救急、訪問診療科と地域ITネットワークを充実する）・院内事故調査委員会等安全管理システムを緻密化する・教育・研修センターを再構築する・データウェアハウスを完成し、データ管理を徹底する・産科の再開に向けた環境整備する・電子カルテをシステム更新する（As Is から To Beへ）・院内全体の役割分担と責任権限を徹底的に追究する・持続成長可能な病院経営する（医療のマトラを推進する）

ごあいさつ

院長 永井庸次



本年も早いもので残すところ3ヶ月になりました。4月に国からがん診療連携拠点病院の認可を受けてから半年経ちましたが、皆様方が想像されたようながんの拠点病院になっ

ているでしょうか。

巷では地域医療構想（ビジョン）と地域包括ケアシステムの話で持ちきりです。この常陸太田・ひたちなか二次医療圏では、高度急性期、急性期、回復期、慢性期の病床構成をどうすべきか、実際急性期は足りているが、回復期、慢性期は足りないのか、足りないならどのぐらい足りないのかを行政、医師会、基幹病院等で議論すべき調整会議は開催されていません。しかし、県全体の会議は既に1回開催されています。茨城県の課題は、外来・入院とも40%前後水戸に流出しているという水戸医療圏と常陸太田・ひたちなか医療圏との関係をどのように将来の病床数、病床機能に反映させるかだと思います。

いずれにしても2025年、団塊世代がすべて75歳以上になる年のこの地域の医療・介護がどのようにあるべきか

私も考えますが、皆様方、行政も今一度真摯に考える必要があると思います。ひとつ言えることは、高齢化社会では、地域包括ケアシステムが中学校区レベルでの話し合いになるように、より身近な密着した地域での医療・介護を考えていかなければならないということです。高度急性期等は今までと同様に水戸との住み分けが必要ですが、高齢者に多い肺炎、骨折、心筋梗塞、脳梗塞などの医療・介護は今まで以上に地域に根ざした地域完結型システムを展開していく必要があります。私はこの2～3年でこれらの医療・介護計画に筋道を立てないといけないと思っています。

今後は地域の中心市街地の活性化はもちろん、各地域毎の医療・介護の充実を図るためにも、当院の周辺でモデルケース的な地域包括ケアシステムを計画・実現していきたいと考えています。「地域を護る病院」として、高齢化社会の中で地域の皆様方を更にきめ細かく未病から医療、介護、福祉まで一括して支え、支え合う仕組みを構築できることを願っています。

今年も残り少なくなりましたが、皆様方と当院職員一同一緒になってこれらの課題に取り組みたいと思っていますので、ご支援、ご指導のほど、宜しく願いいたします。

ひたちなか総合病院・総合健診センター休日のお知らせ

10月		11月		12月		1月																					
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	③	①	2	3	4	5	6	⑦			1	2	3	4	⑤						①	②
④	5	6	7	8	9	⑩	⑧	9	10	11	12	13	⑭	⑥	7	8	9	10	11	⑫	③	④	⑤	6	7	8	⑨
⑪	⑫	13	14	15	16	⑰	⑮	16	17	18	19	20	⑳	⑬	14	15	16	17	18	⑱	⑩	⑪	12	13	14	15	⑰
⑱	20	21	22	23	⑳	㉑	㉒	㉓	24	25	26	27	㉔	㉒	21	22	23	24	25	㉔	⑱	18	19	20	21	22	㉓
㉕	26	27	28	29	30	㉖	㉕	30						㉕	28	29	⑳	㉑			㉕	25	26	27	28	29	⑳

■はひたちなか総合病院休日 ○は総合健診センター休日

地域がん診療連携拠点病院に 指定されました

副院長 神賀 正博

当院は2015年4月1日付けで厚生労働省から地域がん診療連携拠点病院の指定を受けました。がん診療連携拠点病院とは、日本全国どこに住んでいても質の高いがん医療が受けられるよう、地域ごとに厚生労働大臣が指定した病院です。全国では401の病院が指定されており、茨城県では都道府県がん診療拠点病院に県立中央病院が、地域がん診療連携拠点病院には筑波大学附属病院など、当院を含めて9か所が指定されております。

がん診療連携拠点病院には、専門的な手術療法、放射線治療、化学療法等を提供するだけでなく、それぞれの治療を効果的に組み合わせた集学的治療や、がんと診断された早期からの緩和ケアの実施、地域の診療所や一般病院との連携協力、等が求められております。

当院では通常の手術以外にも腹腔鏡を用いた手術を積極的に行っております。また、最新の機器を備えた放射線治療センターを整備しており、がんの種類によっては手術と同等の治療成績が出せるようになっております。外来化学療法室ではがん化学療法認定看護師をはじめとする専属の看護師が対応するだけでなく、薬剤師や臨床心理士も常駐し、副作用や心理的な相談にも対応しております。診療科の枠を越えて治療方針を検討する会議（カンサナーボード）を定期的に開催し、適切な集学的治療を提供する体制を整えております。がん治療を行う過程では身体的な苦痛以外にも精神的、心理的、社会的な苦痛を伴うことが多いと思いますが、これらに適切に対応するために緩和ケア外来、がん相談支援センターも整備しておりますので、お気軽に相談していただければ幸いです。

これからも、常陸太田・ひたちなか二次保健医療圏の皆様にも適切で質の高いがん診療を提供するため、職員一同努力してまいります。



医師異動の紹介

診療科	氏名	異動日
臨床研修医	山本 隆平	退職 (2015. 9. 30)
	関口 修平	退職 (2015. 9. 30)
	隈本 朝喜	退職 (2015. 9. 30)
	村上 剛之	退職 (2015. 9. 30)
	中村 雅俊	退職 (2015. 9. 30)
	馬場 敬一郎	採用 (2015. 10. 1)
	藤原 彩織	採用 (2015. 10. 1)
	久後 舟平	採用 (2015. 10. 1)

食欲の秋です、肥満にご注意を

総合健診センター 保健師 梅原 沙織

秋は食べ物が美味しい季節ですが、ついつい食べ過ぎてしまうと、いつの間にか体重は増え肥満につながるため、注意が必要です。肥満は高血圧や糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病を引き起こし、動脈硬化を進行させ、心筋梗塞や脳梗塞を起こす危険性を高めます。

日本の3大死因は「悪性新生物（がん）」、「心疾患」、「脳血管疾患」で、「心疾患」と「脳血管疾患」は高血圧や動脈硬化が主な危険因子であり、肥満が大きく関わっています。肥満の予防は、エネルギー摂取と消費のバランス改善です。消費エネルギーよりも摂取エネルギーが多いと、余った分が体脂肪として体に貯まり、肥満に繋がります。

1日に必要なエネルギーは下の計算式で出せます。

※1日に必要なエネルギー (kcal) =

1日の基礎代謝量 × 身体活動レベル

※1日の基礎代謝量 = 標準体重 × 基礎代謝基準値

※標準体重 (kg) = 身長 (m) × 身長 (m) × 22 (BMI標準値)

〈基礎代謝基準値〉 〈身体活動レベル〉

年齢	男	女	身体活動レベル	18歳～69歳	70歳以上
18～29歳	24.0	22.1	低い	1.50	1.30
30～49歳	22.3	21.7	ふつう	1.75	1.50
50歳以上	21.5	20.7	高い	2.00	1.70

例：身長170cm 60歳の事務職男性の場合

$63.58 \times 21.5 \times 1.50 = \text{約}2050\text{kcal}$

運動は1日8000歩～10000歩が理想的です。時間がとれない方は、日常生活において小まめに動く、階段を使うなど、身体を動かすことを意識して活動量を増やす工夫をしてみましょう。

尚、主治医より、摂取カロリーを指示されている方は、指示に従って下さい。

インフルエンザ予防接種のお知らせ

10月から季節型インフルエンザワクチンの予防接種を開始します。

当院では、以下のように予防接種を行うことになりましたのでご了承下さい。

1. 成人の方

【10月19日(月)より外来受診時に予防接種が可能です。】

(ワクチン接種をご希望の方は、主治医にご相談下さい。)

2. 定期通院中で外来受診予定の無い方及び小児の方

【予防接種外来（完全予約制）を開設します。】

(1) 予約開始日：10月1日(木)

(2) 予約方法

〈定期通院中で外来受診予定の無い方〉

【電話予約のみ】029-354-5111 (代表)

【受付日時】平日 8:15～16:30

〈小児の方〉

【電話予約のみ】029-354-5111 (代表)

【受付日時】月・火曜日 15:00～16:00

金曜日 15:30～16:30

3. 接種料金

(13歳以上) 4,500円/回 (13歳未満) 4,000円/回

その他

・予約につきましては、上記時間帯以外は予約をお受け出来ませんので予めご了承下さい。

・ワクチン接種の際に、必要な書類（予診票等）がある場合は、事前に必要事項を記入の上、ご持参下さい。

・接種料金につきましては、市町村より配布された「インフルエンザ予防接種予診票」をご提出された方のみ、助成金適用額での接種が可能です。